

長久手市行政評価票

事業番号	21	事業の名称	巡回バス運行事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針	(2)リニモでにぎわい交流するまち	分野別項目	(6)快適で便利な交通移動を確保する	施策の進め方	(2)バス路線網整備の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	・「公共施設の利便性向上」「高齢者や子ども等交通弱者の社会参加促進」及び「市内の交通空白地帯の解消」「子育て支援」「通勤・通学の利便性の向上」を目的に、市所有の小型バス5台で、市内を7ルート、82便/日で運行する。 ・平成16年に購入した車両の老朽化に伴い、バリアフリー非対応の現行の車両にかわるバリアフリー対応のノンステップバス車両を購入する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成26年5月1日現在、県内において、54市町村のうち49市町村(約91%)でコミュニティバス(自主運行バス)が運行されている。						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市民(在学・在勤者)					うち	一般財源	86,114	84,947	95,452	110,318	102,516
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	長久手市民(在学・在勤者)の市内交通の利便性の向上						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
							その他	0	0	0	10,000	0
受益者負担額					0		0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① N-バス運行事業	長久手市民 (在学・在勤者、通過交通含む)	→	市民の市内交通の利便性の向上を図る。	利用者数 231,832人(うち 有料乗車人数 46,304人)、運 行日数359日 (平均乗車数 645人/日) 運行負担金 88,986千円	年間利用者数	平成23年度から平成 25年度までの平均対 前年度増加率は、5. 2%であるため、 平成26年度は5. 2%増加を目標値とし た。	86,114	84,947	運行業務負担金 88,986千円、運行計 画検討調査費3,564 千円、印刷製本費 195千円	A	引き続き利便性向上に向けた取組を進めるとともに、N-バスの周知・PRにより、市民の足となるよう努める。		
② N-バス購入事業	長久手市民 (在学・在勤者、通過交通含む)	→	市民の市内交通の利便性の向上を図る。	平成27年4 月からの新 車両で運行 した	平成27年4月か らの新車両での 運行	早期に市民に快適な バス環境を提供する ため、平成27年度当 初から新車両での運 行開始を目標値とし た。	—	—	小型バス購入17,388 千円、諸費用155千 円	A	車両更新により故障が減少するとともに、全車両がノンステップとなるため市民の利便性が上がった。		
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	